

日立電線スイッチングハブ

ApresiaLightGM シリーズ

Ver. 1.00.01

リリースノート

制定・改訂来歴表

No.	年 月 日	内 容
-	2011年 2月 16日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新規追加
A	2011年 6月 8日	<ul style="list-style-type: none"> ・ APLGM-10001-ER002 ②③事象追加 ・ APLGM-10001-ER008 事象追加

Ver. 1.00.01 リリース情報(2011年6月)

対象機種について

このバージョンでは、以下の機種に対応しております。

○ 新機種対応

APLGM-10001-RC001

- 内容 下記の機種に対応しました。
- 関連
- ApresiaLightGM124GT-SS
 - ApresiaLightGM118GT-SS
 - ApresiaLightGM110GT-SS

既知の問題について

このバージョンでは、以下の既知の問題があります。

○ 既知の問題

APLGM-10001-ER001

- 現象 本装置の起動途中で SFP ポートにおいて、本装置と接続先装置のポートが一時的にリンクアップ・ダウンすることがあります。この時、ログにリンクアップ・ダウンの記録が残ります。
- 回避策 -

APLGM-10001-ER002

- 現象 MDI/MDI-X 固定設定において、以下の問題があります。
- ①ユーザーポートにおいて、MDI/MDI-X 設定の動作が逆になります。
 - ②ポートステータスが有効な状態で設定変更した場合、動作に反映されないことがあります。
 - ③ユーザーポートにおいて、リンクアップしない MDI/MDI-X 設定の組合せで装置を再起動すると、設定に反してリンクアップする場合があります。

- 回避策 MDIX 設定を「auto(自動)」でご使用下さい。
- 設定変更が反映されない場合は、ポートステータスを一度無効にして下さい。
- ```
config ports <port> state (enable)→(disable)→(enable)
```
- 再起動後に設定と異なるリンクアップをする場合、ポートのオートネゴシエーションを無効に設定して下さい。
- ```
config ports <port> speed <speed_duplex>
```

APLGM-10001-ER003

現象 SFP ポートにおいて Flow control を enable に設定できません。常時 disable になります。

回避策 -

APLGM-10001-ER004

現象 QoS において、帯域幅を超えるパケットを流したときに、優先度の低いパケットがフォワードされる場合があります。

回避策 -

APLGM-10001-ER005

現象 ツイストケーブル診断 (cable_diag) が正しく機能しません。実行後に、ポートが link down 状態を保持する場合があります。

回避策 本機能を使わないで下さい。本機能を使用してポートが link down 保持状態になった場合は、装置の再起動を行うか、当該ポートの閉塞 (config ports <portlist> state disable) および解除 (config ports <portlist> state enable) を行ってください。

APLGM-10001-ER006

現象 プロトコル VLAN において、優先度 (priority) を指定した場合に、優先度が反映されません。

回避策 -

APLGM-10001-ER007

現象 ApresiaLightGM124GT-SS のコンボポート(ポート 21~24)を copper ポートでご使用の場合、Flow control の設定が disable/enable に関らず、通信量が多い時に pause フレームを送信することがあります。これにより対向機の送信を一時的に止めることがあります。

回避策 対向機の一時的な送信停止を防ぐ場合には、対向機の Flow Control を disable にして下さい。

APLGM-10001-ER008

現象 コンボ(copper)ポートにおいて、ポートステータスを無効にしても接続先装置のポートがリンクアップ状態となります。

回避策 -

Apresia は、日立電線(株)の登録商標です。

バージョン	対象機器
1.00.01	ApresiaLightGM124GT-SS ApresiaLightGM118GT-SS ApresiaLightGM110GT-SS